

## 前回審議会(令和5年10月3日開催)でのご意見(要旨)

○公園の役割などについて

- ・公園には、個性を活かしてそれを目的に来てもらうという面と、間口が広くふらっと立ち寄れるという面の、両方の役割が求められる。
- ・公園が防災拠点として機能するためには、日常的に間口を広くする工夫も必要である。
- ・例えば学校のグラウンドなど、地域の中に子どもの遊び場となる資源がある。幅広い地域資源を活用した中での公園の位置付けが必要ではないか。
- ・公園が少ない地域では、数年前の台風被害の際にがれき等の置き場に困ったこともあり、今後大きな災害が起こった際に対応できるのか疑問である。

○公園の再配置、集約化などについて

- ・市の財政状況が厳しい中で、いかに効率化していくかということは非常に重要である。
- ・公園施設の老朽化や人口減少等の課題がある中で、すべての公共施設に等しく投資ができる訳ではない。公園についても再配置や集約化等を考えていかなければならず、その大きな方向性を議論していくのが本審議会である。
- ・日本は人口減少が進んでいるが、今後、例えば外国人労働者の増加により、公園がもっと必要となるかもしれないが、一度縮小したものを元に戻すのは難しい。

○特色ある公園づくりについて

- ・単に施設をどう管理するかという視点だけでなく、子育て・福祉・健康など様々な視点を取り入れて、市民目線での公園の活用を考えていく必要がある。
- ・安心・安全の基準や、求める機能・特色など、誰が使うのかによって基準が異なる。子どもの遊びという点では、安心・安全と冒険・挑戦の関連もある。
- ・地域の拠点となる公園について、規模の大きい公園だけでなく、規模が小さくてもその人にとっての拠点となる特色・特徴がある公園の方が利用しやすいという面もある。
- ・地域の特性に応じて、どういった公園を整備すべきかが異なってくる。
- ・個性を活かした岸和田市のオーダーメイドの公園づくりも重要と考えている。
- ・まずはモデル的に取り組んではどうか。

○公園施設の維持管理について

- ・遊具の設置基準や管理基準が厳しくなっているということだが、それに縛られてしまうのであれば、視野を広げて都市公園以外の方法も選択肢としてあるのではないか。
- ・公園樹や街路樹の管理マニュアルを作成するのも予算や人手がかかり大変ではあるが、公園樹に限らず少し幅広く考え、考慮する点を列挙する程度でもできればいいのではないか。

○市民協働、公園の利活用について

- ・公園は距離としては近くにあるが、実感としては遠い存在であり、もっと公園が身近なものにならないかと考えている。
- ・市民が自分たちで公園を良くしていこうと思えるような場所・仕組みづくりについても検討いただきたい。
- ・アドプトパークや公園愛護会の制度である。地域の方に愛着を持ってよく利用していただき、公園の維持管理や花壇整備等をしてもらうというものである。
- ・高齢者の孤立に対するアプローチや、新しく越してきた人がコミュニティに仲間入りするきっかけ、若者が社会との接点を持つ場などとして、公園が活用できるのではないか。